

学校関係者評価委員会開催資料

学校法人北海道安達学園
札幌マンガ・アニメ&声優専門学校
(2019年4月1日から専門学校札幌マンガ・アニメ学院より校名変更)

開催日：2023年3月1日（水）11：00～12：30

出席委員：外部側関係者（業界団体関係者1名、企業関係者3名、姉妹校卒業生1名）

学校側関係者（理事長、学校長、副校長、学校長代理、事務局長、教務部長代理、次長）

2022年度自己評価&学校関係者評価シート

札幌マンガ・アニメ&声優専門学校

1、教育理念・目標、人材育成

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
	自己評価	関係者評価
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
1-2 学校の特徴は何か	4	4
1-3 学校の将来構想を抱いているか	4	4
評価項目総括	学校法人北海道安達学園では、3つの教育方針である「基礎知識・技術の習得」「専門知識・技術の習得」「社会性の習得」に基づき、学園使命である、教育事業を通じて、社会に貢献する人材の育成に努めています。また、総合専門学校という特徴を活かし、多様性のある環境から生まれる新しい発見を学生たちの“やる気”につなげ、学生たちが“なりたい自分になる”ためのサポートを行っています。実践指導の中で技術力、創造力、コミュニケーション力を養い、即戦力となりえる優秀なクリエイター、ビジネスパーソンを育てて行くこととしています。 業界関係者・保護者等への周知については、ホームページ等で周知を図っている。	
各評価委員からの意見や課題	マンガ、イラスト、アニメ、声優業界の変化に対応した人材の育成。 コロナが5類へ移行後における、今後の業界の変化に対する対応が必要になる。	
今後の改善策	業界や教育課程編成委員等の情報を密にして、専攻分野の業界プロから学ぶ研修の実施。	

2、学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
	自己評価	関係者評価
2-1 運営方針は定められているか	4	4
2-2 事業計画は定められているか	4	4
2-3 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	4
2-4 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4	4
2-5 意思決定システムは確立されているか	4	4
2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
評価項目総括	・運営方針は、事業計画にまとめ、毎年作成している。事業計画は、法人理事会の承認を得て、幹部運営会を経由し周知を図っている。 ・運営組織は、組織図に全教職員を組織上に位置づけ、幹部会議、校務会議、職員会議を通じて意思決定システムを構築している。 ・人事、給与に関する規定については、法人総務部で一括整備・管理を行っている。賃金の決定は、業務査定・業績査定に応じ行われている。	
各評価委員からの意見や課題	各カリキュラムや学生対応・指導などの情報を整理し、情報共有ができるようにデーター化の促進。	
今後の改善策	様々なデーター化した内容の共有と、会議などで問題点の検討を密にし、業務の効率化を図る。	

3、教育活動

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
3-1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	4
3-2	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	4	4
3-3	カリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
3-4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	4
3-5	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	4	4
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
3-7	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
3-8	教員の専門性を向上させる研修を行っているか	4	4
3-9	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
3-10	資格取得の指導体制はあるか	4	4
評価項目総括	基礎からプロレベルの技術・知識を学ぶことで、時代に左右されない、高度な表現を持った人材を育成。また、社会人としての知識とマナーの構築を図り、日本の文化とも言えるマンガ・アニメ・声優業界への人材輩出を目指す。		
各評価委員からの意見や課題	引き続きコロナ過ではありましたが、企業・業界説明会やオーディション、BIGEGGS（学生と業界をつなぐイベント）など取り組むことが出来ましたが、更なる業界への人材輩出の体制を構築することが必要。		
今後の改善方策	教育編成委員会の助言や業界との関係を密にし、より実践的なカリキュラムの取り組みを進める。		

4、教育成果

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
4-1	就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	3	3
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	4
4-3	退学率の低減が図られているか	4	4
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
評価項目総括	<ul style="list-style-type: none"> ・就職は、キャリアセンタースタッフとクラス担任によるサポートを行います。また、就職対策授業や学生面談などにより就職意識の向上を図っている。 ・退学、休学、不登校の対策に関連して、現行の学生に対するさらなる授業内容・指導方法の改善と個別のケアや支援の強化が必要。 		
各評価委員からの意見や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動を担任とキャリアセンターが共有化し、向上されているが、専門就職率アップの強化が必要。 ・退学率は改善されたが、精神的な病気の理由や授業についていけない退学などがあるため、学生を細かく把握し共有化していくことがより必要。 		
今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・専門就職への意識付け強化と作品（ポートフォリオ）の強化を図る。また、就職先企業の開拓の強化。 ・問題に対して早めに動き、課題制作などをレベルに合わせた対応で出席率の向上を図り、学生、担任、父兄の共有化を図り、三者の連携を取る。 		

5、学生支援

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
5-1	就職関する体制は整備されているか	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-6	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
5-7	保護者と適切に連携しているか	4	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4	4
評価項目総括	各学科の就職先、担当付き、専門職、声優養成所など、様々な対応を把握し、今年度もコロナ禍で積極的に対面やオンラインでの会社説明会や添削、オーディションを行い、活動範囲を広げる。生活面などはクラス担任による学生の生活状況の把握と保護者との連携を行っている。		
各評価委員からの意見や課題	精神的問題を持った学生が増えているため、担任による学生の生活状況をより速やかに把握し、保護者との連携の強化が必要。		
今後の改善方策	担任・学生・父兄の連絡を密にして、連携を図っていく。		

6、教育環境

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
6-2	学科実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	4
評価項目総括	学内施設・設備は、実際の現場で使用されている設備を整えるため、毎年見直しを行い、プロと同じ設備にこだわっている。学外実習、インターンシップは十分な教育体制を整備している。防災訓練は、避難方法等を指示して実施をしている。		
各評価委員からの意見や課題	特にありません		
今後の改善方策	特にありません		

7、学生の募集と受け入れ

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
7-2	学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	4	4
7-3	入学専攻は適性かつ公平な基準に基づき行われているか	4	4
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	4	4
評価項目総括	本校は、北海道私立専修学校各種学校連合会の加盟校であり、連合会の定めたルールに基づいた募集時期・内容を遵守している。また、入学案内、募集要項、ホームページ等の通り、適正に募集活動は行われており、学納金及び教科書・教材費等は毎年見直しを行い、適正かつ妥当であると思う。入学選考方法も募集要項の通り、適正かつ公正な基準をもとに実施している。		
各評価委員からの意見や課題	就職・デビュー（マンガ、イラストレーター、アニメーター、声優分野）を目指す高校生の保護者等のより一層の理解向上が必要。		
今後の改善方策	保護者対応や説明会の強化。また、ホームページをより分かり易く見やすさを進め、情報の迅速化を図り、ライブ的な拡散と卒業生の活躍をホームページ、パンフレット、SNSでアピールしていく。		

8、財務

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
評価項目総括	財務は学校運営の重要な一つである。事業計画を基に中長期の展望を見据え、収支予算計画を作成する。学校、理事会、評議員会と複数の目によるチェック体制のもと、より現実的な予算編成となっている。会計監査は、監事による監査及び公認会計士による監査を実施、計算書類は適正である旨の監査報告書をいただいている。 財務情報の公開体制については、組織的に取り組んでいる。		
各評価委員からの意見や課題	特にありません		
今後の改善方策	特にありません		

9、法令等の遵守

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
9-2	個人情報に監視、その保護のための対策がとられているか	4	4
9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	4	4
評価項目総括	法令や設置基準等に従い適正に運営を行っている。自己点検・自己評価の結果について公開を速やかに行っている。		
各評価委員からの意見や課題	特にありません		
今後の改善方策	特にありません		

10、国際交流

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
10-1	グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	4	4
各評価委員からの意見や課題	日本の文化であるマンガを通じ、中国をはじめ様々な国と似顔絵交流を図っている。		
各評価委員からの意見や課題	課題は特にありません。今年度は、タイの学生と似顔絵交流会を実施。		
今後の改善方策	今後も受け入れ態勢を整えておく。		

■今後の取り組みについて

各評価項目について、各評価関係者からの意見や課題を踏まえ、今後の改善方策等を計画的に検討し実施して行くことを評価委員一同確認し、教育体制を強化していく。また、教育課程編成委員会とも共有し教育体制の強化を図る。